

**磯辺地区学校適正配置地元代表協議会 資料**

**1 地区の概況**

磯辺地区は東西約1.8km、南北約1.4kmの地域である。昭和46～51年にかけて千葉県が埋め立てて造成した。この地区が稲毛地区の最後の埋め立て地として「磯のはし」になり、海にちなんだ町名として「磯辺」と命名（昭和47年2月）している。

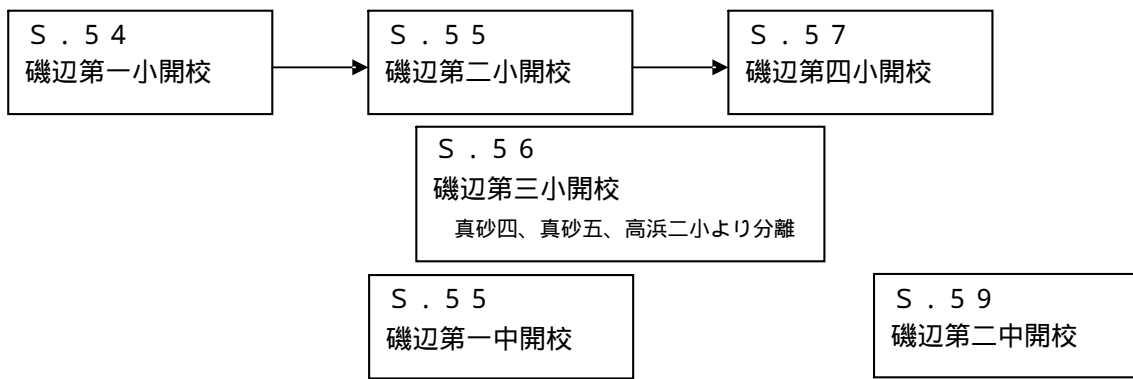
磯辺地区の人口は約19,000人（平成19年4月現在）である。

**2 学校の状況**

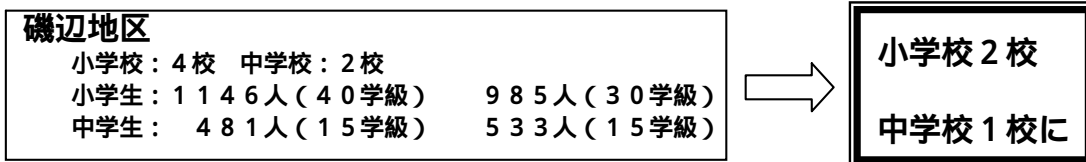
この地区には小学校が4校、中学校2校が点在しており、小学校2校と中学校2校の小規模化が懸念される。平成19年5月現在の小学生数は約1100人、中学生数は約500人、平成25年度の推計では小学生数は約1000人、中学生数は約500人であり、児童生徒数の増加は見込めない。平成25年度の児童生徒数推計値をもとにした地区に必要な学級数は、小学校30学級、中学校は15学級である。

なお、過去の開発経緯で真砂第三小・真砂第一中に通学している磯辺6丁目の児童生徒は、磯辺地区に編入を予定している（平成20年度より）。

**3 学校創立の経緯** 矢印は分離、開校を示す



**4 学校適正配置の方向性**



小学校を2校、中学校を1校に統合することを検討する。

**5 資料**

(1) 現在の学区の状況

美浜区磯辺1～8丁目（6丁目の一部は真砂第三小・真砂第一中）、高洲4丁目の一部、高浜3・5・6・7丁目（高浜3・6・7丁目は高浜第二小・磯辺第二中）

(2) 学校の歴史等 経年は平成19年4月現在

現在磯辺第二中学区となっている高浜第二小のデータも参考として示している。

学校名	開校年月	経年	創立経緯等	特別支援学級の状況	その他
磯辺第一小	S54・4	28年	57年：磯辺第四小に一部移籍		子どもルーム 学校外
磯辺第二小	S55・4	27年	55年：磯辺一小、真砂第三小より分離、開校		
磯辺第三小	S56・4	26年	56年：真砂第四、真砂第五、高浜第二小より分離、開校		
磯辺第四小	S57・4	25年	57年：磯辺一小より分離、開校	1（病弱）	子どもルーム 学校外
高浜第二小	S54・4	28年	56年：磯辺第三小を分離 63年：磯辺第二中学区に変更	1（通級指導教室）	
磯辺第一中	S55・4	27年			
磯辺第二中	S59・4	23年			

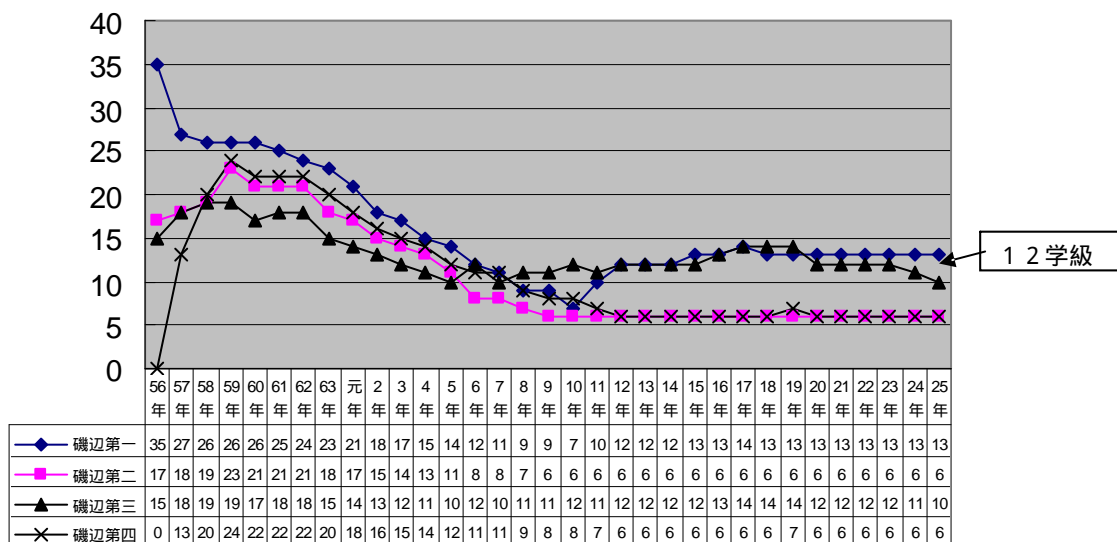
( 3 ) 学級数・児童生徒数 ( 2 0 年度以降は推計値 )

【小学校】

ア 児童数の推移 ( 人 )

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
磯辺第一小	391	423	398	378	370	346	333
磯辺第二小	124	131	154	164	180	193	194
磯辺第三小	442	450	420	399	374	331	295
磯辺第四小	189	182	175	173	169	164	141

イ 学級数の推移

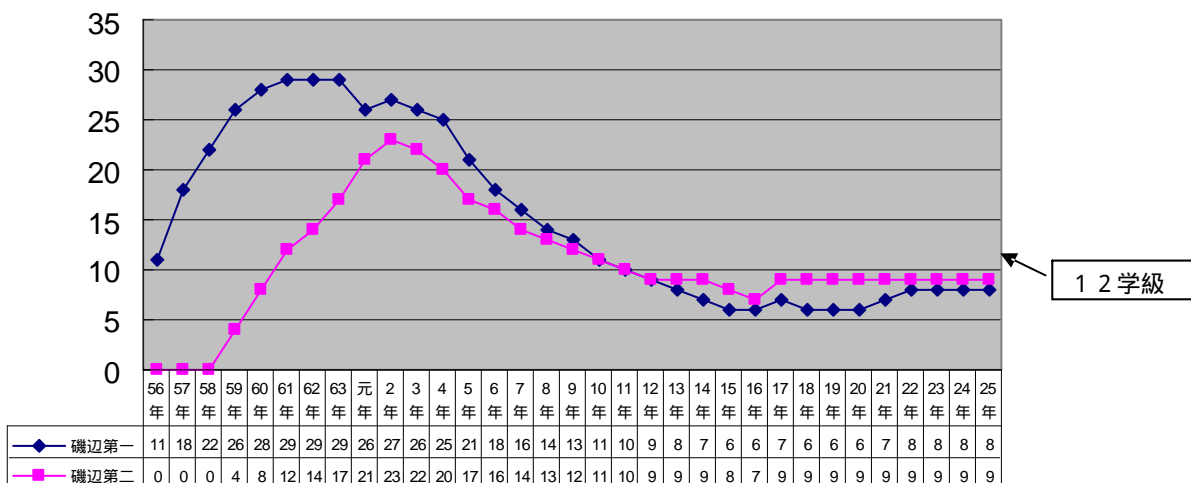


【中学校】

ア 生徒数の推移 ( 人 )

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
磯辺第一中	225	214	218	242	248	248	240
磯辺第二中	256	269	291	304	310	300	303

イ 学級数の推移



(4) 学区図

